

「他に手段ない」明記

公明、事後承認一部容認

国際平和支援法にも例外規定か

【共同】政府は集団的自衛権行使を可能にする武力攻撃事態法改正に際し、武力行使の新たな3要件のうち「国民を守るために他に適当な手段がない」との文言を条文に盛り込む方針を固めた。安全保障法制に関する与野党協議の自民党メンバーは16日説明した。一方、政府は国連平和維持活動(PKO)協力法を改正して新たに国連の枠組みとは別に実施する治安維持活動などに自衛隊を派遣する際、国会の事前承認に例外規定を盛り込む方向で調整に入った。公明党が態度を軟化した。

要件の明記は、公明党が集団的自衛権行使の歯止め策として要求し、焦点となっていた。自民党幹部は「断固拒否する理由はない」と述べた。新3要件は昨年閣議決定され(1)密接な関係にある他国への武力攻撃が発生し、日本の権利が根拠から覆される明白な危険がある(2)国民を守るために他に適当な手段がない(3)必要最小限の実力行使にとどまる場合に武力行使できるとした。

国会承認形骸化の恐れ

自衛隊派遣恒久法原案

【解説】国際平和支援法原案は、海外派遣される自衛隊活動の詳細な実施区域について国会報告を求め、情報不足のままで国会が派遣の是非を審査する必要がある。適正な自衛隊活動が実施されるかどうかを判断する重要な手続である国会承認が形骸化する恐れがあると言わざるを得ない。原案は、閣議決定する基本計画とは別に、自衛隊の活動区域や支援内容

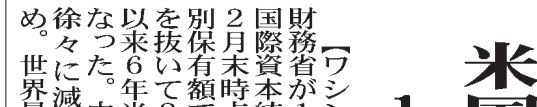
集団的自衛権

シャープ、本社売却

赤字2千億円で再建案

【共同】シャープの経営再建計画案の全容が16日、明らかになった。液晶テレビを生産する栃木工場(栃木県矢板市)の閉鎖や、大阪市の本社売却など大規模なリストラ策を盛り込んだ。2015年3月期の連結純損益が2千億円の赤字に転落する見通しのため、主要取引銀行などの協力を得て計2250億円の増資を実施し、経営の立て直しを急ぐ。

同案に基づき新たな中期経営計画をとりまとめ、5月に発表する。シャープは銀行に計画案を提示し、銀行側は了承する方向だ。計画案によると、本社ビルを売却し、賃貸ビルに移る。1924年から本拠地としてきた場所から移転することに。主力の液晶事業は、スマートフォン向け中小型パネルを生産する亀山工場(三重県亀山市)などを本体から切り離し、分社化する方針。グループ全体で、国内で3千人の希望退職を募り、海外で2千人規模を削減する。不振の太陽電池事業は、家庭用を含む全面撤退も視野に、一薄膜太陽電池と呼ばれる大規模太陽光発電所(メガソーラー)向けの部門の



大阪市のシャープ本社

【共同】安倍晋三首相は17日、沖繩県の翁長雄志知事と官邸で会談した。昨年12月に翁長氏が知事に就任して以来、両氏の会談は初めて。菅義偉官房長官が16日の(同県福山市)の第1工場(約15万平方メートル)の閉鎖案も盛り込まれた。シャープは、中小型液晶パネルの不振や構造改革費用がかさむことか、15年3月期は2年ぶりに赤字に転落する見通し。みずほ銀行と三菱東京UFJ銀行に金融支援を要請しており、合意に達すれば、シャープの借入金を株式に振り替える(金庫の株式化)を実施。企業再生ファンドからも出資を受ける。

首相と翁長氏きょう会談

沖繩知事就任後初めて

記者会見で発表した。首相は、米軍普天間飛行場(沖繩県宜野湾市)の名称変更と移設の必要性を訴えて理解を求めたい考えだが、翁長氏は移設反対の立場をあらためて伝える方針だ。沖繩の基地負担軽減や振興策などをめぐり、意見交換するとみられる。会談は17日午後1時半から30分程度の予定。菅氏と沖繩県の安慶



安倍晋三首相(左)、沖繩県知事翁長雄志(右)

【共同】望月義夫環境相は14日の記者会見で、東京電力福島第1原発事故で発生した指定廃棄物を保管するため宮城県などを指定する方針を示した。最終処分場を、今後は、長期管理施設と呼び方を変える」と表明した。より実態に即した名称にする」と述べた。環境省は13日、指定廃棄物を処分場に保管し続けるのはなく、放射線量が減った後に廃棄物の再利用や再処理を進め、将来的には原状回復する案を示した。

外に範囲を拡大させる方針だ。隊員が危険にさらされる可能性が高まるのは確実で、十分な情報に基づいて国会審査が必要なのは言うまでもない。政府、自民党は国際紛争に対処する他国軍の後方支援を随時可能とする恒久法として制定を目指す。国際平和支援法にも例外規定を設けたい考え。公明党は「多国籍軍が武力行使の目的を持つ活動として、PKO関連活動とは危険性が異なる」として、例外的な事後承認に難色を示している。

【ワシントン共同】米メディアによると、世論調査会社ラズムセンは15日、次の大統領は民主党的クリントン前国務長官だと予想する人が回答者の57%に上ったとすると世論調査結果を発表した。一方で、クリントン氏が「好ましい」と考える人とは「好ましくない」と考える人が47%と、評価は真つ二つに割れた。共和党に有望な候補が見当たらないことを理由に、クリントンを「好ましく」思っていない人の中にも、同氏が大統領

中国の貿易額、14年も首位

WTO統計、日本は4位

【ジュネーブ共同】世界貿易機関(WTO)が14日発表した2014年の貿易統計によると、中国は輸出が前年比4%増の4兆3030億ドル(約515兆円)で、前年に続き世界一だった。日本は輸出が前年比4%減の3兆640億ドル(約43兆円)で、4位だった。中国の輸出は前年比6%増の2兆3430億ドルで、1兆6230億ドルの米国を大きく引き離して首位。中国の輸入は1%増の1兆9600億ドルで、米国に次いで2位だった。日本は輸出が前年比4%減の3兆640億ドル、輸入が同1%減の2兆200億ドル。米国が貿易総額1兆1400億ドルで首位。中国は6040億ドル、日本は3480億ドル。

米国債保有、6年振り日本首位

1兆2244億ドルで中国抜く

【ワシントン共同】米財務省が15日発表した国際資本統計によると、2月末時点の米国債の国別保有額で、日本が中国を抜いて首位になった。保有額は2兆244億ドル(約145兆円)、中国は1兆8千億ドル、中国は1兆2237億ドル(約145兆7千億円)だった。日中とも1月末より保有額を減らしたが、中国の減少幅が日本より大きかったことが逆転につながった。ただ差はわずかに日本を上回る可能性がある。昨年の2月末と比べると、中国の保有額は49

果関係が立証されれば、賄賂となる。政治家は汚職の金を懐にも入れるのは、選挙資金に変わるようになった。連署は、以前、聖地牙哥の市長と話していた時、市議員が「選挙期間中、毎朝、自宅の前に電気料金や水道料、電話代を手にした近隣の庶民が、これを払って見返りに、それを列をなすんだ」と嘆いて、これが選挙の現実なら、有権者の意識レベルを上げないと汚職は無からならない。国民の過半数を占める貧困層が汚職政治家にぶら下がって現政権を支え、多くの税金を懐に蓄積している構図に、83年に国民が投票する大統領直接選挙制を求めたことから軍政が崩れ、この国の民主主義は再出発した。実はその時から貧困層と中流階級の葛藤が組み込まれていた。そんな背景がある気がする。(深)

Tarifas promocionais para JAPÃO

→Via Oriente Médio, Europa, Estados Unidos, Canadá e outras rotas.

Consulte-nos

ALFAINTER TURISMO

Visit our site: www.alfainter.com.br

ENDERECO: Rua AMÉRICO DE CAMPOS, 47A - LIBERDADE - CEP.01506-010 - SÃO PAULO - SP

(11) 2187-8989(SP) saao@alfainter.com.br

(03)5473-0541(TOKYO) info@alfainter.co.jp

Pacote Aéreo

Pérolas do TAHITI

Papeete, Moorea, Tahaa, Raiatea, Bora Bora e Huahine

Saídas: 01 Nov de 2015

Inclui: Este programa é completo. Inclui aéreo do Brasil para Santiago com pernoite em Santiago, terrestre e marítimo.

Consulte o valor com a Tunibra

TUNIBRA TRAVEL

www.tunibra.com.br | tunibra@tunibra.com.br

INFORMAÇÕES E RESERVAS: (11) 3346-8225

Praça da Liberdade, 170 - Liberdade - SP

20周年のSPFWが開幕

ジゼリ最後のランウェイ

米国での生活を優先するため

サンパウロ・ファッション・ウィーク(SPFW)の2016年夏物コレクションが13日に開幕した。17日までサンパウロ西部のカンジード・ボルチナリ公園で開催される今回のショーは、記念すべきものとなる。



最後のランウェイを終え、仲間に祝福されるジゼリ(FOTOS JF DORIO)

記念すべき開催となる。今回のショーは、伯国が生んだトップモデル、ジゼリ・ブランチエリと、最後のファッション・ショーとなる。

奇しくも今年にはジゼリにとってもモデル活動20年にあたる記念の年。その節目を、彼女のモデル人生と同じ長年の歴史を持つSPFWで迎えたいというわけだ。

ジゼリがランウェイに立ったのは15日の午後8時30分頃。彼女が長年契約を結んでいるブランド、コルッチのショーだった。

ジゼリが辞めるのは、当地メディアの広範なニュース

SPFWは今や伯国内のみならず、南米でも注目を浴びるショーとなっており、今年も95年に開催された第1回から数え、ちょうど20周年の

ロベルト・カルロスが聴き放題に

アルバム61作分開放

伯国音楽史上、最大のスター、ロベルト・カルロスが7日、音楽配信サービス「スポティファイ」に、彼がこれまで発表した全楽曲の音源を聴き放題にすることを発表した。

スポティファイは現在、音楽配信のメディアの中で世界を代表する存在で、全世界32カ国でサービスを展開している。伯国でのサービスは昨年5月に開始された。スポティファイは、公式サイトで登録さえすれば、基本的に無料で世界の数多くのアーティストの楽曲を聴くことが可能で、登録そのものも手間がかからず簡単なものであるため、誰でも聴くことが可能だ。

伯国で軍政が始まったとされる4月1日、ブラジリアで軍政開始から51周年を記念して、軍政反対などを訴えるデモが行われた。

伯国の軍政は、軍人達のクーデターでジョアン・グアラール大統領が失脚した。このクーデターは、1964年4月1日から、ジョゼ・サルネイ氏が大統領に就任した1985年3月15日までとされている。

ブラジリアの三権広場のデモには、「治安維持を再び許すな」「治安維持法を撤廃せよ」などと書かれたプラカードを持った人々が集まった。

伯国で軍政は、軍人達によって始まったものではなく、大農園主やサンパウロ州の工場経営者、当時の人口の35%を占めていた都市部中流階級、3月19日に「自

由のための神の家族の行進」を行った反共産主義のカトリック教会信者達の支援も受けていた。

軍人達の蜂起は3月31日とされ、この日にリオ・デ・ジャネイロのミタールクラブで開かれた記念集会は軍政を褒め称える要素が強かったのに対し、4月1日のデモは軍政反対の姿勢がより強く出た。

軍政移行後の数年は経済が目覚しく回復し、年々占めていた都市部中流階級、3月19日に「自

り、収入の疑いが生じている。スポティファイに曲を提供すると、アーティストが属している国のみならず、同サービスに加盟している全ての国で聴くことが可能となる。南米圏に限らず、イタリアやポルトガルなどでも人気があり、さらにファン層を増やしているロベルトとしては好都合だ。

このスポティファイは、ロベルト以外にも多くの伯人アーティストの楽曲が充実しており、伯国音楽に興味のある人には楽しめるサービスとなりそうだ。

高まっていると語る。同氏と、スポティファイの専門家であるミツキー・シユビンは、アメリカ国外に野球を普及させる最大の障害は、野球用具の購入にあると見ている。MLBは、社会福祉団体やアマチュアチームにユニフォーム、バット、ボール、防具、ベースなどを寄付する活動に力を入れている。他にも、MLBは12代

12台分を2430万レアルで売却した。一方、リオ州は12年にこの機器をマウエル社から購入した。この購買契約は、マウエル社の技術が他社には無い唯一のものが、マウエル社がもっていたため、同社に買収された。マウエル社は、1993年に伯国で主要な市場を開拓したが、翌年に法務省が行った入札で、他にも9社のビデオカメラの技術を持つ会社があり、マウエル社と競合していた。

ミナス州W杯特別局もリオ州同様、入札無しにマウエル社とCICC用設備購入契約を交わしたが、それは、法務省がマウエル社と全てのW杯開催都市向けのビデオカメラの購入契約をした5日後のことだった。

当時のミナス州W杯局長のチアゴ・ラセルダ氏(3月27日付フォーリア紙より、4月2日掲載)は、「我々の購買はコンフェデ杯で最低限の用を足すためのものだった。後になって政府が残りを調達してくるに過ぎない」と語る。

14年に伯国での主要な市場を開拓したが、翌年に法務省が行った入札で、他にも9社のビデオカメラの技術を持つ会社があり、マウエル社と競合していた。

ミナス州W杯特別局もリオ州同様、入札無しにマウエル社とCICC用設備購入契約を交わしたが、それは、法務省がマウエル社と全てのW杯開催都市向けのビデオカメラの購入契約をした5日後のことだった。

当時のミナス州W杯局長のチアゴ・ラセルダ氏(3月27日付フォーリア紙より、4月2日掲載)は、「我々の購買はコンフェデ杯で最低限の用を足すためのものだった。後になって政府が残りを調達してくるに過ぎない」と語る。

14年に伯国での主要な市場を開拓したが、翌年に法務省が行った入札で、他にも9社のビデオカメラの技術を持つ会社があり、マウエル社と競合していた。

ミナス州W杯特別局もリオ州同様、入札無しにマウエル社とCICC用設備購入契約を交わしたが、それは、法務省がマウエル社と全てのW杯開催都市向けのビデオカメラの購入契約をした5日後のことだった。

当時のミナス州W杯局長のチアゴ・ラセルダ氏(3月27日付フォーリア紙より、4月2日掲載)は、「我々の購買はコンフェデ杯で最低限の用を足すためのものだった。後になって政府が残りを調達してくるに過ぎない」と語る。

14年に伯国での主要な市場を開拓したが、翌年に法務省が行った入札で、他にも9社のビデオカメラの技術を持つ会社があり、マウエル社と競合していた。

ミナス州W杯特別局もリオ州同様、入札無しにマウエル社とCICC用設備購入契約を交わしたが、それは、法務省がマウエル社と全てのW杯開催都市向けのビデオカメラの購入契約をした5日後のことだった。

当時のミナス州W杯局長のチアゴ・ラセルダ氏(3月27日付フォーリア紙より、4月2日掲載)は、「我々の購買はコンフェデ杯で最低限の用を足すためのものだった。後になって政府が残りを調達してくるに過ぎない」と語る。

14年に伯国での主要な市場を開拓したが、翌年に法務省が行った入札で、他にも9社のビデオカメラの技術を持つ会社があり、マウエル社と競合していた。

ミナス州W杯特別局もリオ州同様、入札無しにマウエル社とCICC用設備購入契約を交わしたが、それは、法務省がマウエル社と全てのW杯開催都市向けのビデオカメラの購入契約をした5日後のことだった。

当時のミナス州W杯局長のチアゴ・ラセルダ氏(3月27日付フォーリア紙より、4月2日掲載)は、「我々の購買はコンフェデ杯で最低限の用を足すためのものだった。後になって政府が残りを調達してくるに過ぎない」と語る。

14年に伯国での主要な市場を開拓したが、翌年に法務省が行った入札で、他にも9社のビデオカメラの技術を持つ会社があり、マウエル社と競合していた。

ミナス州W杯特別局もリオ州同様、入札無しにマウエル社とCICC用設備購入契約を交わしたが、それは、法務省がマウエル社と全てのW杯開催都市向けのビデオカメラの購入契約をした5日後のことだった。

当時のミナス州W杯局長のチアゴ・ラセルダ氏(3月27日付フォーリア紙より、4月2日掲載)は、「我々の購買はコンフェデ杯で最低限の用を足すためのものだった。後になって政府が残りを調達してくるに過ぎない」と語る。

デング熱でエース倒れる

重要試合が続く最悪の時に

コリンチャンスのエースストライカー、ペレリ代表FWのパオロ・ゲレロ(31)が、聖州選手権準決勝ポントプレッタ戦当日の11日、高熱と身体の痛みを訴えて入院した。13日、入院先のサンルイス病院は、ゲレロはデング熱感染の可能性が高く、15日間の療養が必要と発表した。

「15日間は彼がデング熱から回復し、トレーニングに戻るまでの期間、体力も落ちるから、すぐには試合に戻れない。復帰は彼の体力回復次第」と、チームドクター、イヴァン・グラヴァ氏は述べた。

11日の発症日から療養開始と考えると、コリンチャンスが聖州選手権の決勝進出を決めた場合、ゲレロは5月3日の同選手権決勝2戦から復帰できる可能性もあるが、16日のリベルタ杯サンパウロ州選手権杯サンパウロ州選手権準決勝パルメイラス戦、22日のリベルタ杯サン

パウロ戦、26日の聖州選手権決勝1戦、29日のリベルタ杯ベスト6戦第1戦と、五つの重要な試合を欠場することは決定的だ。

この件を受けてコリンチャンスは神経を失わせ、ゲレロは同チームで2人目のデング熱感染者となるからだ。同選手は、大聖市圏サンターナ・デ・デング熱にある自宅でデング熱を持った蚊に刺された可能性があるが、2月に感染した選手も家族が住むマリ

ム・ブレレイと、彼とのあいだにできた子供とペーリ活動などは継続して行っている。また、ゲレロの参加を辞退する理由も、NFLのスター選手ト

現在の伯国や南米のファッション界を担うデザイナーやモデルの先駆けとして知られている。12日付エスタード紙(14日掲載)などにより、14日掲載

たりなど、自分自身の権利に非常にうるさいイメージのあったロベルトだけに、この全曲開放は意外な気もあるが、どうやら決め手となったのは、スポティファイの持つ「国際的」という利点によるものようだ。ロベルトの広報担当のドレイ・シユビンは、ロベルトがスポティファイを選んだ理由として「南米地区をはじめ、世界の多くの国で影響力を持つため」と語り

入札も無く警備機器発注 2州のW杯特別局に収賄の疑い

ブラジリアで軍政反対デモ

クーデターから51年記念し

脚した1964年4月1日から、ジョゼ・サルネイ氏が大統領に就任した1985年3月15日までとされている。

ブラジリアの三権広場のデモには、「治安維持を再び許すな」「治安維持法を撤廃せよ」などと書かれたプラカードを持った人々が集まった。

伯国で軍政は、軍人達によって始まったものではなく、大農園主やサンパウロ州の工場経営者、当時の人口の35%を占めていた都市部中流階級、3月19日に「自

り、収入の疑いが生じている。スポティファイに曲を提供すると、アーティストが属している国のみならず、同サービスに加盟している全ての国で聴くことが可能となる。南米圏に限らず、イタリアやポルトガルなどでも人気があり、さらにファン層を増やしているロベルトとしては好都合だ。

このスポティファイは、ロベルト以外にも多くの伯人アーティストの楽曲が充実しており、伯国音楽に興味のある人には楽しめるサービスとなりそうだ。

高まっていると語る。同氏と、スポティファイの専門家であるミツキー・シユビンは、アメリカ国外に野球を普及させる最大の障害は、野球用具の購入にあると見ている。MLBは、社会福祉団体やアマチュアチームにユニフォーム、バット、ボール、防具、ベースなどを寄付する活動に力を入れている。他にも、MLBは12代

12台分を2430万レアルで売却した。一方、リオ州は12年にこの機器をマウエル社から購入した。この購買契約は、マウエル社の技術が他社には無い唯一のものが、マウエル社がもっていたため、同社に買収された。マウエル社は、1993年に伯国で主要な市場を開拓したが、翌年に法務省が行った入札で、他にも9社のビデオカメラの技術を持つ会社があり、マウエル社と競合していた。

ミナス州W杯特別局もリオ州同様、入札無しにマウエル社とCICC用設備購入契約を交わしたが、それは、法務省がマウエル社と全てのW杯開催都市向けのビデオカメラの購入契約をした5日後のことだった。

当時のミナス州W杯局長のチアゴ・ラセルダ氏(3月27日付フォーリア紙より、4月2日掲載)は、「我々の購買はコンフェデ杯で最低限の用を足すためのものだった。後になって政府が残りを調達してくるに過ぎない」と語る。

大リーグが伯国に触手

有望市場と見込み継続投資

伯国でも近年野球の人気が高まってきている。サッカーが絶大な人気を誇るこの国でも、バスケットボールやアメリカンフットボールなどさまざまな野球も少しずつその裾野を広げており、アメリカの大リーグ(MLB)もこの人目を狙って、収入の疑いが生じている。スポティファイに曲を提供すると、アーティストが属している国のみならず、同サービスに加盟している全ての国で聴くことが可能となる。南米圏に限らず、イタリアやポルトガルなどでも人気があり、さらにファン層を増やしているロベルトとしては好都合だ。

このスポティファイは、ロベルト以外にも多くの伯人アーティストの楽曲が充実しており、伯国音楽に興味のある人には楽しめるサービスとなりそうだ。

高まっていると語る。同氏と、スポティファイの専門家であるミツキー・シユビンは、アメリカ国外に野球を普及させる最大の障害は、野球用具の購入にあると見ている。MLBは、社会福祉団体やアマチュアチームにユニフォーム、バット、ボール、防具、ベースなどを寄付する活動に力を入れている。他にも、MLBは12代

12台分を2430万レアルで売却した。一方、リオ州は12年にこの機器をマウエル社から購入した。この購買契約は、マウエル社の技術が他社には無い唯一のものが、マウエル社がもっていたため、同社に買収された。マウエル社は、1993年に伯国で主要な市場を開拓したが、翌年に法務省が行った入札で、他にも9社のビデオカメラの技術を持つ会社があり、マウエル社と競合していた。

ミナス州W杯特別局もリオ州同様、入札無しにマウエル社とCICC用設備購入契約を交わしたが、それは、法務省がマウエル社と全てのW杯開催都市向けのビデオカメラの購入契約をした5日後のことだった。

当時のミナス州W杯局長のチアゴ・ラセルダ氏(3月27日付フォーリア紙より、4月2日掲載)は、「我々の購買はコンフェデ杯で最低限の用を足すためのものだった。後になって政府が残りを調達してくるに過ぎない」と語る。

14年に伯国での主要な市場を開拓したが、翌年に法務省が行った入札で、他にも9社のビデオカメラの技術を持つ会社があり、マウエル社と競合していた。

ミナス州W杯特別局もリオ州同様、入札無しにマウエル社とCICC用設備購入契約を交わしたが、それは、法務省がマウエル社と全てのW杯開催都市向けのビデオカメラの購入契約をした5日後のことだった。

当時のミナス州W杯局長のチアゴ・ラセルダ氏(3月27日付フォーリア紙より、4月2日掲載)は、「我々の購買はコンフェデ杯で最低限の用を足すためのものだった。後になって政府が残りを調達してくるに過ぎない」と語る。

14年に伯国での主要な市場を開拓したが、翌年に法務省が行った入札で、他にも9社のビデオカメラの技術を持つ会社があり、マウエル社と競合していた。

ミナス州W杯特別局もリオ州同様、入札無しにマウエル社とCICC用設備購入契約を交わしたが、それは、法務省がマウエル社と全てのW杯開催都市向けのビデオカメラの購入契約をした5日後のことだった。

当時のミナス州W杯局長のチアゴ・ラセルダ氏(3月27日付フォーリア紙より、4月2日掲載)は、「我々の購買はコンフェデ杯で最低限の用を足すためのものだった。後になって政府が残りを調達してくるに過ぎない」と語る。

14年に伯国での主要な市場を開拓したが、翌年に法務省が行った入札で、他にも9社のビデオカメラの技術を持つ会社があり、マウエル社と競合していた。

ミナス州W杯特別局もリオ州同様、入札無しにマウエル社とCICC用設備購入契約を交わしたが、それは、法務省がマウエル社と全てのW杯開催都市向けのビデオカメラの購入契約をした5日後のことだった。

当時のミナス州W杯局長のチアゴ・ラセルダ氏(3月27日付フォーリア紙より、4月2日掲載)は、「我々の購買はコンフェデ杯で最低限の用を足すためのものだった。後になって政府が残りを調達してくるに過ぎない」と語る。

14年に伯国での主要な市場を開拓したが、翌年に法務省が行った入札で、他にも9社のビデオカメラの技術を持つ会社があり、マウエル社と競合していた。

ミナス州W杯特別局もリオ州同様、入札無しにマウエル社とCICC用設備購入契約を交わしたが、それは、法務省がマウエル社と全てのW杯開催都市向けのビデオカメラの購入契約をした5日後のことだった。

当時のミナス州W杯局長のチアゴ・ラセルダ氏(3月27日付フォーリア紙より、4月2日掲載)は、「我々の購買はコンフェデ杯で最低限の用を足すためのものだった。後になって政府が残りを調達してくるに過ぎない」と語る。

14年に伯国での主要な市場を開拓したが、翌年に法務省が行った入札で、他にも9社のビデオカメラの技術を持つ会社があり、マウエル社と競合していた。

ミナス州W杯特別局もリオ州同様、入札無しにマウエル社とCICC用設備購入契約を交わしたが、それは、法務省がマウエル社と全てのW杯開催都市向けのビデオカメラの購入契約をした5日後のことだった。

当時のミナス州W杯局長のチアゴ・ラセルダ氏(3月27日付フォーリア紙より、4月2日掲載)は、「我々の購買はコンフェデ杯で最低限の用を足すためのものだった。後になって政府が残りを調達してくるに過ぎない」と語る。

14年に伯国での主要な市場を開拓したが、翌年に法務省が行った入札で、他にも9社のビデオカメラの技術を持つ会社があり、マウエル社と競合していた。

ミナス州W杯特別局もリオ州同様、入札無しにマウエル社とCICC用設備購入契約を交わしたが、それは、法務省がマウエル社と全てのW杯開催都市向けのビデオカメラの購入契約をした5日後のことだった。

当時のミナス州W杯局長のチアゴ・ラセルダ氏(3月27日付フォーリア紙より、4月2日掲載)は、「我々の購買はコンフェデ杯で最低限の用を足すためのものだった。後になって政府が残りを調達してくるに過ぎない」と語る。

14年に伯国での主要な市場を開拓したが、翌年に法務省が行った入札で、他にも9社のビデオカメラの技術を持つ会社があり、マウエル社と競合していた。

ミナス州W杯特別局もリオ州同様、入札無しにマウエル社とCICC用設備購入契約を交わしたが、それは、法務省がマウエル社と全てのW杯開催都市向けのビデオカメラの購入契約をした5日後のことだった。

当時のミナス州W杯局長のチアゴ・ラセルダ氏(3月27日付フォーリア紙より、4月2日掲載)は、「我々の購買はコンフェデ杯で最低限の用を足すためのものだった。後になって政府が残りを調達してくるに過ぎない」と語る。

14年に伯国での主要な市場を開拓したが、翌年に法務省が行った入札で、他にも9社のビデオカメラの技術を持つ会社があり、マウエル社と競合していた。

ミナス州W杯特別局もリオ州同様、入札無しにマウエル社とCICC用設備購入契約を交わしたが、それは、法務省がマウエル社と全てのW杯開催都市向けのビデオカメラの購入契約をした5日後のことだった。

地元住民も初めての珍現象

フェルナンド・デ・ノロニャ 大量の海藻が入り江を占領

伯国北東部の観光名所フェルナンド・デ・ノロニャで、大量の海藻が島の周りの海を侵食するという、珍しい現象が起きている。茶色っぽい海藻が見渡す限り広がるという、信じがたい光景は、カイエラなど、複数の場所で見られる。最初のうちは水の上

にオリブオイルを落としたり、黄色い塊が流れてきたなどと思っていたが、陸にいても感じ

るほど強い臭気も伴っているし、こんなに広がってしまった。なんと説明しているのは、海洋調査員のレオ・ウエラスさんだ。

レオさん達が、シコメンテス研究所主任のタデウ・オリヴェイラさんやサマの専門家のリカルド・ガルサンの助けも借りて調べた結果、黄色い塊は、カリブ地方のサルゲイロに生息する浮遊性の海藻サルガッスム(ホンダワラ類)である事が判明。レオさん達は、海藻が密集しているため、底がガラガラ張りになっている調査船を使わず、水中に潜って調査している。この調査は、サルガッスムが繁殖しているのに気づき、「まるで海に浮く飼育室みたいだ」と表現している。同島周辺の海水温は25.28度が普通だが、ここ数日は28.5度を超えている。レオさん達は、サルガッスムが生息する水域の海水温はもっと高く、中国やベルギーなどの国名が入ったゴミと一緒に流れてきている事から、この現象は、一時的なものではないと見ている。

レオさんはこの島に住み始めて25年だが、今回のような光景を見たのは初めて。「もっと前から島に住んでいる人達にも聞いてみたけど、誰もこんな光景を見た事がないと言っている」とレオさんは強調した。(7日付G1サイトより、9日掲載)

「最初のうちは水の上

にオリブオイルを落としたり、黄色い塊が流れてきたなどと思っていたが、陸にいても感じ

るほど強い臭気も伴っているし、こんなに広がってしまった。なんと説明しているのは、海洋調査員のレオ・ウエラスさんだ。

レオさん達が、シコメンテス研究所主任のタデウ・オリヴェイラさんやサマの専門家のリカルド・ガルサンの助けも借りて調べた結果、黄色い塊は、カリブ地方のサルゲイロに生息する浮遊性の海藻サルガッスム(ホンダワラ類)である事が判明。レオさん達は、海藻が密集しているため、底がガラガラ張りになっている調査船を使わず、水中に潜って調査している。この調査は、サルガッスムが繁殖しているのに気づき、「まるで海に浮く飼育室みたいだ」と表現している。同島周辺の海水温は25.28度が普通だが、ここ数日は28.5度を超えている。レオさん達は、サルガッスムが生息する水域の海水温はもっと高く、中国やベルギーなどの国名が入ったゴミと一緒に流れてきている事から、この現象は、一時的なものではないと見ている。

レオさんはこの島に住み始めて25年だが、今回のような光景を見たのは初めて。「もっと前から島に住んでいる人達にも聞いてみたけど、誰もこんな光景を見た事がないと言っている」とレオさんは強調した。(7日付G1サイトより、9日掲載)

「最初のうちは水の上

にオリブオイルを落としたり、黄色い塊が流れてきたなどと思っていたが、陸にいても感じ

るほど強い臭気も伴っているし、こんなに広がってしまった。なんと説明しているのは、海洋調査員のレオ・ウエラスさんだ。

レオさん達が、シコメンテス研究所主任のタデウ・オリヴェイラさんやサマの専門家のリカルド・ガルサンの助けも借りて調べた結果、黄色い塊は、カリブ地方のサルゲイロに生息する浮遊性の海藻サルガッスム(ホンダワラ類)である事が判明。レオさん達は、海藻が密集しているため、底がガラガラ張りになっている調査船を使わず、水中に潜って調査している。この調査は、サルガッスムが繁殖しているのに気づき、「まるで海に浮く飼育室みたいだ」と表現している。同島周辺の海水温は25.28度が普通だが、ここ数日は28.5度を超えている。レオさん達は、サルガッスムが生息する水域の海水温はもっと高く、中国やベルギーなどの国名が入ったゴミと一緒に流れてきている事から、この現象は、一時的なものではないと見ている。

レオさんはこの島に住み始めて25年だが、今回のような光景を見たのは初めて。「もっと前から島に住んでいる人達にも聞いてみたけど、誰もこんな光景を見た事がないと言っている」とレオさんは強調した。(7日付G1サイトより、9日掲載)

「最初のうちは水の上

にオリブオイルを落としたり、黄色い塊が流れてきたなどと思っていたが、陸にいても感じ

るほど強い臭気も伴っているし、こんなに広がってしまった。なんと説明しているのは、海洋調査員のレオ・ウエラスさんだ。

レオさん達が、シコメンテス研究所主任のタデウ・オリヴェイラさんやサマの専門家のリカルド・ガルサンの助けも借りて調べた結果、黄色い塊は、カリブ地方のサルゲイロに生息する浮遊性の海藻サルガッスム(ホンダワラ類)である事が判明。レオさん達は、海藻が密集しているため、底がガラガラ張りになっている調査船を使わず、水中に潜って調査している。この調査は、サルガッスムが繁殖しているのに気づき、「まるで海に浮く飼育室みたいだ」と表現している。同島周辺の海水温は25.28度が普通だが、ここ数日は28.5度を超えている。レオさん達は、サルガッスムが生息する水域の海水温はもっと高く、中国やベルギーなどの国名が入ったゴミと一緒に流れてきている事から、この現象は、一時的なものではないと見ている。

レオさんはこの島に住み始めて25年だが、今回のような光景を見たのは初めて。「もっと前から島に住んでいる人達にも聞いてみたけど、誰もこんな光景を見た事がないと言っている」とレオさんは強調した。(7日付G1サイトより、9日掲載)

「最初のうちは水の上

にオリブオイルを落としたり、黄色い塊が流れてきたなどと思っていたが、陸にいても感じ

るほど強い臭気も伴っているし、こんなに広がってしまった。なんと説明しているのは、海洋調査員のレオ・ウエラスさんだ。

レオさん達が、シコメンテス研究所主任のタデウ・オリヴェイラさんやサマの専門家のリカルド・ガルサンの助けも借りて調べた結果、黄色い塊は、カリブ地方のサルゲイロに生息する浮遊性の海藻サルガッスム(ホンダワラ類)である事が判明。レオさん達は、海藻が密集しているため、底がガラガラ張りになっている調査船を使わず、水中に潜って調査している。この調査は、サルガッスムが繁殖しているのに気づき、「まるで海に浮く飼育室みたいだ」と表現している。同島周辺の海水温は25.28度が普通だが、ここ数日は28.5度を超えている。レオさん達は、サルガッスムが生息する水域の海水温はもっと高く、中国やベルギーなどの国名が入ったゴミと一緒に流れてきている事から、この現象は、一時的なものではないと見ている。

レオさんはこの島に住み始めて25年だが、今回のような光景を見たのは初めて。「もっと前から島に住んでいる人達にも聞いてみたけど、誰もこんな光景を見た事がないと言っている」とレオさんは強調した。(7日付G1サイトより、9日掲載)

「最初のうちは水の上

にオリブオイルを落としたり、黄色い塊が流れてきたなどと思っていたが、陸にいても感じ

るほど強い臭気も伴っているし、こんなに広がってしまった。なんと説明しているのは、海洋調査員のレオ・ウエラスさんだ。

レオさん達が、シコメンテス研究所主任のタデウ・オリヴェイラさんやサマの専門家のリカルド・ガルサンの助けも借りて調べた結果、黄色い塊は、カリブ地方のサルゲイロに生息する浮遊性の海藻サルガッスム(ホンダワラ類)である事が判明。レオさん達は、海藻が密集しているため、底がガラガラ張りになっている調査船を使わず、水中に潜って調査している。この調査は、サルガッスムが繁殖しているのに気づき、「まるで海に浮く飼育室みたいだ」と表現している。同島周辺の海水温は25.28度が普通だが、ここ数日は28.5度を超えている。レオさん達は、サルガッスムが生息する水域の海水温はもっと高く、中国やベルギーなどの国名が入ったゴミと一緒に流れてきている事から、この現象は、一時的なものではないと見ている。

サンパウロ周辺 イベント情報

【サッカー】

聖州選手権 準々決勝 4/19(日) ・コリンチャンス対パルメイラス (イタケロン・スタジアム) ・サントス対サンパウロ (ヴィラ・ベルミロ・スタジアム)

リベルタドール杯 グループ予選B組 4/22(水) ・コリンチャンス対サンパウロ (イタケロン・スタジアム)

【4/16から公開の映画】

・チャッピー (米国/チャッピー) 近未来社会でロボットが社会を管理する状況から起こるパニック映画。ヒット作「第9地区」のニール・ブロンカン監督。

・ダニー・コリンズ (米国/ノン・オーリエ・パラ・トラス) 老練のベテラン・ロックシンガーが自分の人生を見つめなおすことを描いたコメディ。名優アル・パチーノ主演。

【4/17~4/23に開催されるコンサート】

4/18(土) ・イマジン・ドラゴンズ (アニエンピ・アリーナ Avenida Olavo Fontoura, 1209 - Santana) 2014年のロラパルザでも圧倒的人気を博した、現在のアメリカを代表するロックバンド。</

